

本部だより

●第9号



マーシャル方面遺族会



靖国神社ご本殿と中庭に掲げられた本会奉納の錦旗

謹賀新年
平成十六年元旦

本部役員及び篤志会員

相談役

おきゅうきよこ
大給湛子

会長

黒川 誠

副会長

晝間 楽平

常任幹事

石谷典夫 荒木常子

高橋 鎮夫

幹事

高林芳夫 山口良二

佐竹エス 草場寛

晝間志津子

篤志会員

松平永芳 徳原徳子

山村 要



平成十六年度

慰霊祭・総会・直会のご案内

会長 黒川 誠

会員、会友の皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の慰霊祭、総会、直会を次のように行いますので、お誘い合わせの上、ご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

◆慰霊祭

日時 平成十六年四月三日（土）

午前十時（受付は九時より）

受付 靖国神社旧参集所前（参集所は

現在改築工事中（八月一日完成予定）。仮参集所は拜殿前に設置。

◆定期総会

会場は昨年と同じ靖国会館（田安・玉垣の間）です。

◆直会（なおりい）

総会終了後、その場が直会の会場となります。

会費は一名四千五百円となります。

閉会は午後三時を予定しています。

●当日の出欠に関わらず、同封のほがきに全欄ご記入の上、二月末日まで本部に到着するようご投函願います。

欠席の方も会員の現状把握に必要ですので必ずお願い致します。

●直会出席の方で、取り消しを希望の



方は、三月三十一日までに本部へご連絡下さい。納入済みの料金は後日返金致します。ご連絡が締め切り日を過ぎたときは返金出来ませんのでご了承下さい。

●直会への当日申し込みは、弁当の注文が出来ませんのでお受け出来ません。

●本会への寄付金、直会費、玉串料（一名に付五百円）は、すべて同封の郵便振替用紙で二月末日までにお送り下さい（当日の現金受付は原則として取り扱いません）。

●九段会館へ宿泊希望の方にお知らせ致します。

①宿泊費（一名九千九百七十五円。一泊朝夕食事付）は、各自でお支払い下さい。本部より予約済みです。

②九段会館宿泊部（東京都千代田区九段一・六・六 電話〇三・三二六一・五五二一）



第一回永代神楽祭出席者の記念撮影

第一回 マーシャル方面遺族会
永代神楽祭齋行
 会長 黒川 誠



平成十五年七月十五日、梅雨期の天候ではありましたが、当日は幸いにも天候に恵まれて当会の第一回永代神楽祭にふさわしい一日となりました。

出席者（編集部注・黒川誠会長、晝間楽平副会長、晝間志津子、荒木常子、高橋鎮夫、佐竹エス、草場寛、富田ミツ、富田キミ、山森久江、菊池亘彦、遠藤安男、中村順子、星野綾子、鈴木よしえ、小田原利子、吉田正明、森田穰二、櫛崎馨、真鍋・敬称略）全員が待合室に集まり、予定通り午後二時より神官の案内で手水を使い、お祓いを受けて本殿に昇る。当日は他の永代神楽祭参拝者もあって、同時参列する。一般参列者の祝詞奏上に続き、ご英霊の名前を読み上げて、その後、本会の

祝詞奏上となる。

七号の本誌に記された通り、「秋山門造命、山田道行命、柴崎恵次命、西田祥實命はじめ三万五千余柱の命」等と読み上げられる。

玉串奉奠に合わせて一同揃って二礼二拍手一礼の作法に従い参拝する。

巫女さんの「浦安の舞」を奉納した後、再度拝礼をして退下し、第一回永代神楽祭は滞りなく齋行することが出来ました。

靖国神社では毎年七月十三日から十六日まで「みたままつり」が行われており、境内両側には大小の提灯が飾られ、当会の大提灯も掲灯されています。数々の催し、屋台が出て、終日大変な賑わいでした。参詣者が多く、心強く感じました。

私個人の永代神楽祭は、毎年二月六日に齋行されるのですが、厳冬期なのでご英霊に対して申し訳ないのですが、生来寒がりの私には高齢なりに寒

気が身に堪えます。それに比べると本会の永代神楽祭は本当にありがたい気持ちです。

戦後六十年ともなりますと靖国神社で慰霊祭を催す戦友会、部隊合同慰霊祭の予定欄（「靖国」）に表示が少なくなっています。諸団体による参拝は春秋には多いと思いますが、みたまに直接関係の深い部隊等の予定が減少することは年の重なることでやむを得ない現象ですが、寂しさは拭えません。これは本会も同様の感があります。

本会六十年記念

靖国神社に錦旗奉納

平成十六年は本会六十年の節目に当たるので、記念行事として何が良いか役員会にても検討を繰り返ししました。決定的な案が浮かばないので苦心して

いましたが、前述の第一回永代神楽祭の当日に山本祭儀課長に打診したところ「本殿前の錦旗が製作されてから二十年以上になるので新調を考えている。奉納して貰えるのならば貴会にとっても記念になるのでは」とアドバイス戴きました。早速役員会で討議した結果、全員の賛同で神社側に錦旗奉納を伝えました。

早速神社側で発注して九月二十五日に完成したので、十月七日に奉納式を行うこととなりました。

神社側は、湯澤宮司、権宮司、祭儀課長他二名が列席。

本会側は、役員六名（黒川誠、晝間楽平、晝間志津子、高橋鎮夫、荒木常子、草場寛）が出席。

現在参集所は新築工事中に付、仮参集所で当日十時三十分集合して、記帳をはじめて同所二階で目録を贈呈し、次に拝殿で全員お祓いを受けてから神官の案内で昇殿し、本殿で玉串奉

奠をして、揃って二拝二拍手一礼で参拝を終わりました。退下に当たり、本日の錦旗奉納記念として本殿に錦旗を掲げて（表紙写真参照）宮司同席で写真撮影を行いました。

退下してから直会会場へと案内され、宮司他神官同席で直会の接待を受けて、午後一時三十分閉会となりました。直会の席上、湯沢宮司より感謝状及び記念品が当会宛贈呈されました。

錦旗の仕様は次の通りです。

一、錦旗 一對

正絹 散雲文様錦 両面仕立 一六八重菊紋 本金手刺繍（両面） 寸法（長さ三メートル十センチ×幅六十五センチ） 正絹揚巻房（長さ五十センチ） 四個 正絹釣り紐

二、使用法途

春秋例大祭、新年祭等に拝殿及び本殿に一對掲揚

（錦旗の詳細は八ページを参照）

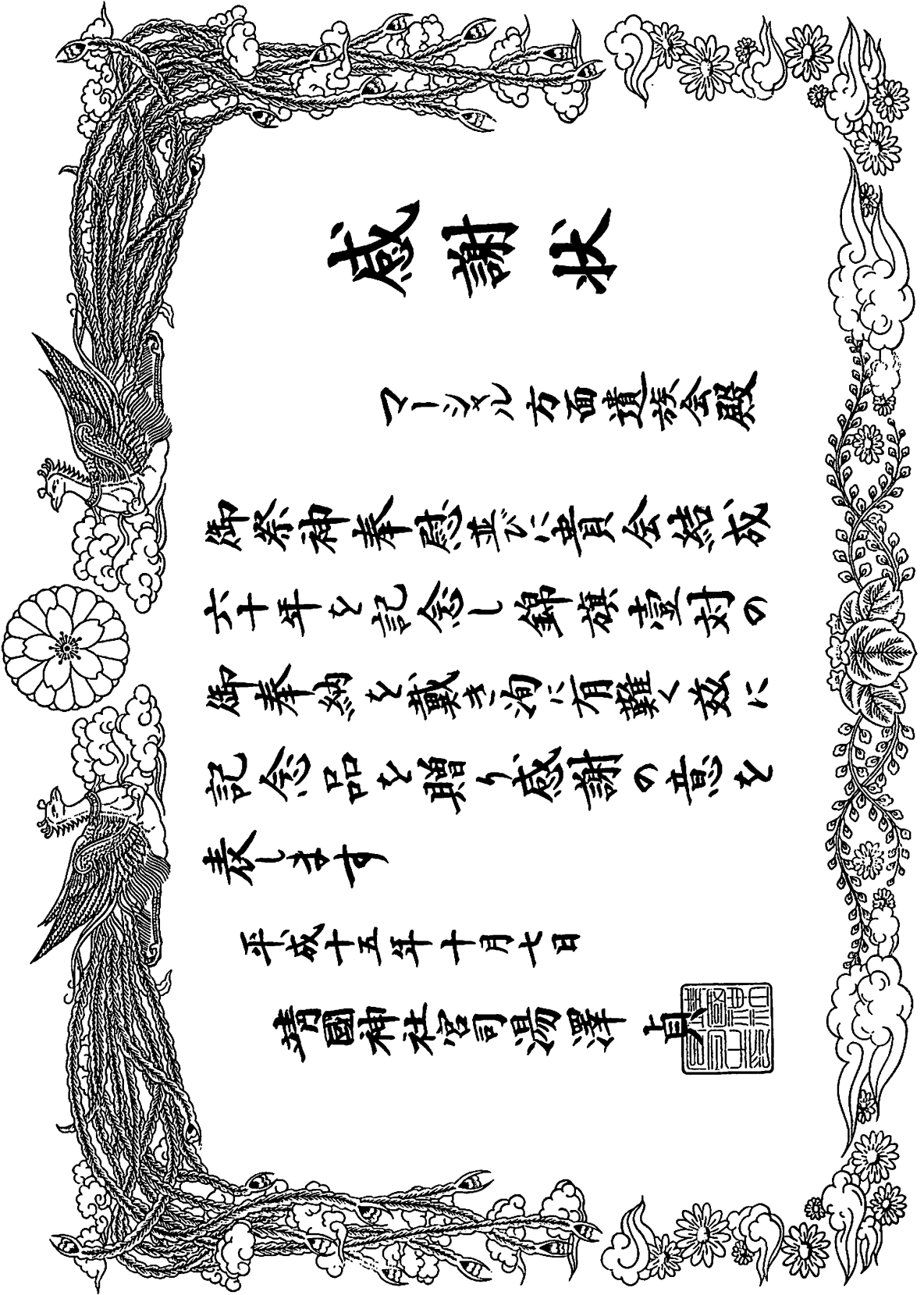
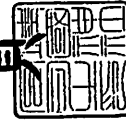
感謝状

マーシエル方面遺族会殿

御祭神奉慰共ニ貴会結成
六十年を記念し錦旗壹対の
御奉納を戴き洵に有難く茲に
記念品を贈り感謝の意を
表します

平成十五年十月七日

清國神社宮司湯澤 貞



●第二回永代神楽祭の

お知らせ

第二回永代神楽祭は、平成十六年七月十五日（木）午前十一時（予定）靖国神社本殿にて執り行われます。出席ご希望の方は、六月末日まで本部宛にお申し込み下さい。

●現地慰霊について

本会主催の現地慰霊巡拝（クエゼリン島、ルオット島）は、本年十月を予定しておりますが、申込者は四十二名となりました。詳細についてはいずれ通知されることとなりますが、参考までに取扱業者をお知らせ致します。

小田急トラベル株式会社

〒151-0053 東京都渋谷区代々木二・

二八・一二

担当 田村氏

tel.03-3379-2269

平成十五年六月二十九日（日）

中野フヂ工会員（長崎県）より電話を

戴きました

黒川 誠

「私は八十八才の高齢となり、現在は一人暮らしの毎日です。やがてお迎えが来ることとなりますが、そうなったとき英霊の奉慰はどうなるのかと心残りです。本年一月に送られて来た「本部だより」には永代神楽祭申込金が三百万円とありました。私が生きている内に三百万円を送りたいと思うのですが、宛先は本部宛でよろしいのでしょうか。お知らせ下さい」との問い合わせでした。

これについて永代神楽祭申込金については本会の資金（これは皆さんから寄付金としてお預かりしているもので

す）の中から三百万円を永代祭祀料として奉納致しましたので、永代神楽祭申込金は会員、会友の皆様のご負担は一切不要であることを伝えました。

なお、永代神楽祭申し込みにより今後神社の存続する限り毎年（七月十五日）にはマーシャル、ギルバート周辺海域で戦没された三万五千余柱のご英霊の御霊安かれと祈る奉慰の灯火は、永久に絶えることなく続きます。

歴代の会長さんをはじめ故人となられた会員、会友の皆さんも大勢いらっしやいます。その方々にもご英霊がいらっしやいます。

永代神楽祭の奉納金三百万円についてはいろいろな議論もありましたが、会員の中には自分達の没後を考えて肉親の英霊に対して自分よりも英霊に対する思いを切々と考え、個人でも三百万円を負担したいと訴えている気持ち私たちも考え、永代神楽祭は唯一の贈り物であろうと思います。

●寄付者ご芳名

平成十五年五月十四日から十二月三十一日の間に、ご協賛戴いた方々です。五十七名で合計二十七万円です。ありがとうございます。

◆敬称略・順不同

青森県 松橋ミツエ 秋田県 近藤キ
 クエ 山形県 長岡正昭 福島県 大
 波恵美子 楠宗親 根本さとみ 茨城
 県 神永栄子 柴澤繁子 埼玉県 橋
 本強 服部陽一 千葉県 岩佐とみ
 米田正子 津久井艶子 東京都 會田
 くに 大高時男 飯島祐宜 大野清子
 斉藤芙美 星野綾子 長谷川智子 小
 林法子 鈴木やよひ 蓮沼常子 森田
 穰二 島崎正猪 高坂和靖 神奈川県
 石澤洋子 大石純一 杉田絹恵 柳沢
 弘子 鈴木友季子 長塚隆夫 新潟県
 近藤茂 富山県 金山深雪 石川県
 長井武弘 木村久子 長野県 赤岡正

之 赤岡芳晴 宮

下礼子 静岡県

後藤行雄 京都府

東地井義訓 奈良

鳥 山中美子 鳥

取県 中浜ヒメコ

広島県 溝口ハナ

コ 愛媛県 渡部

守 大塚喜久雄

高知県 田中百合

野島貞人 柳村摩

耶子 山口県 吉

永峯生 楠崎馨

福岡県 下金正義

長崎県 安達美加

栄 長谷土松 熊

本県 右山定 沖

縄県 石原キク

会友 吉良正義

以上

●下図 靖国神社 参集所完成予想図





●写真上右・錦旗奉納記念写真●写真上左・錦旗贈呈式にて湯澤宮司に目録を渡す黒川会長●写真右・錦旗裏面の本会名金糸刺繍●写真左・豪華な錦旗の接写

●環礁・本部だより：第9号●発行日：平成16年2月1日●発行人：黒川 誠

●マーシャル方面遺族会本部：〒142-0051 東京都品川区平塚 3-4-17 ●電話 03-3783-8382 ●FAX03-3783-8384

●振替：東京 00100-0-9387